



『エンジョイ ロータリー』

～Enjoy Rotary～

東京六本木ロータリークラブ会長

TOKYO ROPPONGI ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT

東京六本木ロータリークラブ



『夢をかたちに』

～Make Dreams Real～
国際ロータリークラブ会長

発行日 2009年4月27日

No. 35

平成21年4月13日

卓話『ロータリーの使命』

学校法人 慶應義塾大学 財務顧問

国際ロータリー第2750地区パストガバナー

市川 伊三夫 様

今日はロータリーがこれからどうしていくべきやならないか、お聞きいただきたいと思って参上しました。いろんなロータリーを見て思うんですが、いろんな点で私たちは直していく必要があると思います。

第一次世界大戦が終わって、こんなことしてたら駄目だということでできたのが国際連盟。そして第二次世界大戦後、今度こそということでできたのが国際連合です。国際連合は政治だけではなく、経済でも共存できる体制を作ろうということで、世界銀行もIMFもGATTもできました。そのお陰もあって大きな戦争はなくなりつつある。国際連盟と国際連合という世界の賢人の集まりの半数以上はロータリアンです。我々ロータリアンの先輩は世界平和に大きな任務を果たしたわけです。

それを今、我々ロータリアンはどの程度踏襲しているか、これが皆さんに投げかける第一の問題。第二に、今も「貧しい国と病める人々」が減っていないかというと、やはり民族闘争や諍いが影響していると思います。だから何とかして戦争を無くさなければならぬ。大事なのは近隣の国とどうやって仲良くしていくか、そのためにはどう貢献するかです。平和に一番大事なのは忍耐。お互いのアラを探すんじゃなくて、いいところを讚えあう。ゆるくてもいい、いろんな連合をもって諍いをやめることが平和への一番の近道。その行動を起こすことがロータリアンの奉仕の心だと思います。自分ができることからお始めいただくと、ポール・ハリスの言った奉仕の心が分かるのではないか。

今度ガバナー補佐になるリソンさんは、朝、道路を掃く。孤児院に食事を届ける。学校へ行く子どもたちが交通事故に遭わないように見張る。それを毎朝、会社に行く前にやる。これが奉仕なんですね。

奉仕はいろんな形があります。お金なんかなくていい。ある老夫婦がディズニーに行つて食堂でお子さまランチを3人分頼んだ。店の女性が来て、大人の人にお子さまランチは出さないんだけど、失礼ですが理由をお聞かせ願えませんかと聞く。老夫婦が、私たちは可愛い娘がいました、今はもういないんです、その子と来たときにはいつもお子さまランチをせがまれて食べました。今日ディズニーを久しぶりに訪問したんで娘を想って頼みましたと答えたそうです。そしたらその女性が、それなら喜んでお出ししましょうと言って、食器を3組セットし、さらに子供用の椅子まで出したというのです。素晴らしいと思いませんか。ほんのちょっとの行為でも人は感動する。それが奉仕の心だと思うんです。

ロータリーは最終的にはあなた方の心です。奉仕の心が気高いものなら、この大小を問わず人を感動させることができる。どうか素晴らしいロータリアンになって、ロータリーの本来の使命をもう一度皆様方の胸の中でジャッカルしていただきたいと思います。

